

## CASE 06

## 企業名

株式会社  
ハミングバード・  
インターナショナル知人の紹介でたまたま採用した外国  
人材が、他の社員たちから慕われる工  
場長に

## 企業インタビュー

部長  
青木 寛子 氏担当部署  
総務部

## 事業内容

宮城県を中心に、イタリアンレストランやラーメン屋などの飲食店を29店舗運営。「地域と共に生きていく」という理念のもと、地域活動にも積極的に取り組む。2024年、日本全国および海外での展開を目指し、フランチャイズ事業を開始。

## 企業概要

企業名：株式会社ハミングバード・インターナショナル

所在地：宮城県仙台市青葉区本町2-6-16

設立年：1975年

資本金：2,000万円

従業員数：690名

うち高度外国人材1名

出身国・地域：ネパール1名

業種：宿泊業・飲食サービス業（飲食店）

ホームページ：<https://h-bird.co.jp>

## 高度外国人材を受け入れたきっかけ・背景

## 知人から紹介されたのが、たまたま外国人材だった

当社が外国人材を採用したきっかけは、飲食業界の知り合いからネパール人求職者を紹介されたことでした。店舗ではアルバイトとして外国人材を雇用していましたし、2010年代以降は海外での店舗展開も検討し始めており、会社としてのグローバル化への意識は強かったといえます。ただ、外国人材を正社員として採用するのは初めてだったため、手探りで受け入れ準備を進めました。

## 高度外国人材受け入れに当たっての取組内容

## ビザや雇用に関わる手続きでは、専門家の協力を仰いだ

正社員の外国人材を受け入れるに際して、最も不安に感じていたのは、ビザの手続きや雇用手続きでした。しかし、ネパール人求職者自身が紹介してくれた行政書士の指導に従って資料を用意するという形で進められましたし、求められる資料も会社経営上普段から作成しなければならない書類がほとんどだったため、想定よりもスムーズに手続きを完了させることができました。

## 高度外国人材採用に当たっての課題と解決策

## 外国人材の成長意欲が強く、特別な配慮は不要だった

ネパール人求職者の採用の決め手は、日本語の流暢さ。日本人社員と同じ条件で働いてもらう想定だったため、日本語で円滑にコミュニケーションできることを重視していました。

とはいえ、彼の採用後、日本語での会話は得意でも読み書きは苦手かもしれないと推測し、社内メールでは漢字に振り仮名をふるなど配慮していました。ところが、彼から「自分の成長につながらないので、漢字だけで送って欲しい」と言われて廃止。彼は、仕事に慣れるまで、日本人上司と同じ時間に仕事を終わらせるために自ら前日に翌日の業務準備をしたり、ミスをした時には「次は絶対に間違えないようにしよう」と自分で改善策を細かくメモしたりと、大きな成長意欲に溢れていたため、特別な気遣いは不要だったのです。

## CASE 06



## 高度外国人材定着に当たっての課題と解決策

## 日本人社員と同じ基準で評価し、独立のキャリアも後押し

ネパール人社員は、入社して早4年が経ちました。彼に長く働いてもらうため、当社が気をつけたのは、日本人社員と同じ基準で評価することです。実際、彼は製造部で20名ほどの部下を統率する工場長にまで昇進。実力に応じて職位と業務レベルが上がることは、成長意欲の強い彼の大きなモチベーションとなっているはずです。同時に当社は、独立を目指す社員向けのキャリアアッププランも用意しているため、いずれ母国で自分の店や工場を構えたいと夢見る彼には合っているでしょう。

また、本人の主体的な姿勢も、大きな定着ポイントの1つかもしれません。彼は単にその日のタスクを受け身にこなすのではなく、日々少しでもスキルアップするにはどうすべきかを考えながら仕事をしているので、常にやりがいと成長を感じられているのだと思います。

## 高度外国人材活用による成果・変化

## 外国人材への信頼は厚く、優秀な人材に国籍は関係ないと実感

ネパール人社員は本当に真面目で、店舗から新製品のフィードバックがないと不安になり、自ら電話して感想を聞くほど。どんな課題も、大きくなる前に解決してくれているように感じます。他の日本人社員からの信頼も厚く、彼が休暇でしばらく母国に帰っていた時は、困った社員たちが指示と助言を求め、電話しているのをしばしば見かけました。優秀な人材に国籍は関係ないと、つくづく実感しています。

当社は今後、日本全国、そして海外でもフランチャイズ展開を開始する予定です。現在はそれに合わせ、外国人材の正社員を増やしている最中。ネパール人社員には、工場長としての仕事の他、これから入社する後輩の外国人材たちのフォローもお願いしたいと考えています。

## 高度外国人材社員

## インタビュー

学びを生かし、母国でレストラン  
や工場を経営したいです。



PANDIT NAMARAJ

パンディット ナマラジ氏

国籍・地域  
ネパール 2019年入社

## 入社理由

経済大国の日本で仕事の経験を積むことを目的に来日した私は、仙台の日本語学校で学んだ後、東北から離れ、派遣社員として従業員のシフト管理や商品管理などに従事しました。その後、より学びの多い環境に挑戦しようと転職活動を始めたところ、日本語学校時代にアルバイトをしていた飲食店の店長からハミングバードを紹介され、大きな組織の管理方法を学べるはずだと感じて入社を決めました。

## 業務内容

麺やソースなどを作る製造部で、生産管理業務に従事しています。同僚や先輩や上司は協力的で、いつも快く相談に乗ってくれるのでありがたいです。一方で難しいのは、工場長として部下たちをマネジメントすること。自分の責任を果たさずに甘える部下を放置していると、工場全体の生産性が低下しかねないため、周囲に報告・相談しながら様々な改善策を試すようにしています。

## 東北地域で働く理由・良さ

初めて来日した時はどの都市も同じだと思っていましたが、他の地方の派遣会社に移った時、自分はそれまで仙台の人たちに支えられていたのだと気づきました。仙台では、アルバイト先で日本人の友人がたくさんできましたし、ネパール人同士で定期的に集まって助け合っていたのです。今は再び仙台に戻り、自分自身が新たに来日したネパール人たちを助けられるようになったのを嬉しく思っています。

## 今後のキャリアプラン

将来の夢は、母国で自分のレストランや工場を持つことです。自分が経営者の立場になった時に困らないように、マネジメントを含め、自分に足りないスキルはできる限り学んで身につけていきたいと考えています。お金を稼ぐことも大切ですが、私はむしろ仕事で毎日少しずつでも成長することに集中しています。そうすれば、お金は自然と後からついてくるはずですから。